

# やまがた 学校給食だより



第14号  
平成24年4月10日

【編集・発行】  
一般財団法人 山形県学校給食会  
〒990-0051 山形市銅町一丁目2番12号  
TEL.023-622-0938 FAX.023-631-0961  
<http://www.yamagaku.or.jp>



## 就任にあたって

理事長 佐藤 俊助

財団法人山形県学校給食会は公益法人制度改革に伴い、本年4月1日に一般財団法人山形県学校給食会へと名称変更いたしました。

私は、同日付けで理事長に就任いたしました佐藤俊助でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、このたびの公益法人制度改革は、明治29年制定の民法に基づいて設立されてきた公益法人の運営に関して、時代の変遷に応じられるよう120年ぶりの大改革として進められているものであります。

この改革の目的は「民による公益の増進を目指して」と高らかに謳われており、これは旧主務官庁の許可を得て設立された半官半民の組織や団体を独立させ、新しい法人が従来の公益活動をより一層活発に推進することを、官の代表たる国が求めているものと思われまます。

本会が県知事から新法人として認可を受けたことにつきましては、特別の責務が課せられております。

それは、旧主務官庁であります山形県教育委員会が、従来から本会の公益事業として認めてきた次の4事業を、今後も継続して実施することです。

- 1 学校給食に関する諸団体等のおこなう活動への支援事業
- 2 冷凍庫等学校給食用設備の無償貸与事業
- 3 市町村等からの依頼に応える学校給食用食品検査事業
- 4 食育推進のための学校給食指導用教材等貸出事業

以上の事業は、従来から本会が実施してまいりました公益活動ですので、法人名称変更後も公益事業についての変更はございません。

特に、食品検査事業につきましては放射性物質検査装置を新たに設置し、本会取扱食品の検査はもとより市町村からの依頼検査にも対応してまいります。これにより安全で安心な学校給食への本会の取組みは一層拡充できるものと考えております。

また、食育の推進を支援し、子どもたちの心身の健全な発達に寄与するとして本来の目的や姿勢、精神も継続しさらに発展してまいります。

今後とも、皆様のご信頼と子どもたちの笑顔に応えるため、役職員一同一層まい進してゆく覚悟でありますので、変わらぬご理解とご指導をお願いいたしまして就任のご挨拶といたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 目 次

○就任にあたって	1	○平成24年度学校給食用パン・炊飯・麺	
○退任にあたって	2	委託加工工場の指定について	6
○給食会の事業	2	○食品検査室だより	7
○学校給食の充実をめざして	3	○物資研究委員会選定物資	8
○子どもたちのおいしい笑顔のために	4~5		



## 退任にあたって

前会長 相馬 周一郎

本給食会が新法人に移行することに伴い、3月31日をもって財団法人山形県学校給食会会長を退任いたしました。

在任中は各学校関係者の皆様から多大な御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、これまでも「食」の重要性は言われてきておりますが、「朝食欠食」や「孤食」などといった「不健全な食生活の広がり」、「食に感謝する心の欠如」「食品の安全性に対する信頼の低下」などの問題点から、今改めて食の大切さが問われております。

県教育委員会においては、第5次教育振興計画後期プランにおける「食育」を、「いのちの教育」を進めるための一つの柱として位置付け、「学校・家庭・地域の連携による食育を推進していく」こととしております。

県学校給食会では、これまでも「食育」を推進する上で「学校給食」が担う役割は大きいとの考えの下、地産地消への取り組みや、学校栄養士や調理師の各研修会などへの協賛、広報事業等に取り組んで参りました。

今後も、心身ともに健康でたくましい子どもの育成のため、学校給食のさらなる発展充実と、「食育」の一層の推進が図られますよう、関係各位の御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。

## 一般財団法人山形県学校給食会役員等名簿

役職名	氏名
理事長	佐藤 俊助
理事	渡邊 茂泰 亀屋 英幸 山名 博和 家入 和彦
監事	松田 昭裕 阿部 恵二
評議員	鈴木 幹雄 長岡 敏生 秋保 仁 阿部 眞悦 門脇 孝一 武田 美佐子 川越 有見子

## 給食会の事業

### 学校給食会事業



# 学校給食の充実をめざして



## 公益事業について



### 1 学校給食に関する他団体等への支援事業

現在、食に関して朝食欠食、孤食（一人で食べること）や個食（家族が各々異なった料理を食べること）の増加等に加えて、食の安全に対する信頼の喪失が問題とされております。

こうしたなか国は、食育基本法を制定し、学校給食法の改正を行い食育の位置づけと推進姿勢を明確に打ちだしました。

本会は、このような状況の中、これまで行ってまいりました学校給食に関する諸団体等の行う活動への助成や食育推進活動への支援を従来以上に積極的に進めてまいります。

### 2 冷凍庫等学校給食設備無償貸与事業

山形県内の学校給食調理場（学校給食センター、単独調理学校等）の冷凍庫等は無償で貸与する事業であり、各学校給食調理場等の設備水準の維持向上により食材の安全確保、品質維持、衛生管理の向上、給食調理作業の合理化等に資するため実施しております。

元々は昭和51年度に国が始めた事業であり、市町村から大変感謝された事業ですが、国の事業が縮小、廃止された後も冷凍庫等の耐用年数切れにより、県内すべての学校給食現場に完備された冷凍庫等の設置率が低下していくことを防ぐため、国に代わり当法人が独自に予算措置し設置率100%の維持に努めています。

平成24年3月31日現在、県内の貸与台数は186台です。

### 3 食品検査事業

学校給食の実施に伴う最大の脅威は学校給食による食中毒です。当法人では児童生徒の健康が不適切な給食食材によって損なわれることを防止するために食品検査をおこなっております。また、市町村からの依頼により学校給食調理現場（学校給食センター、単独調理学校等）の食材の細菌検査、調理従事員の手指の清浄度、調理器具設備、学校給食用食器具の細菌検査及び理化学検査を無償で実施してまいりました。

今年度からは、本会食品検査室に放射性物質の検査機器を備えましたので、放射能についても依頼検査を受けつけます。学校給食の安全確保対策として、数値データによって確認し安全、安心な食事の提供に資するため行っています。

平成23年度の食品検査実績については、7ページをご覧ください。

### 4 学校給食指導用教材等貸出事業

学校における食育の推進は、栄養教諭や学校栄養士が具体的な推進者となって、教育の一環として実施される学校給食を中心として指導が行われており、食品の知識や食材への感謝、地元産の食材等への理解を深められるような授業や指導が行われています。

偏食や朝食欠食、食品の機能や役割その他を指導するための教材としての食品の模型（魚、肉、果物、調理見本等）や年代別献立モデル、朝食指導のための食材モデル（模型）、原寸大の各種魚類の模型やマナー指導、食品を選択させるためのバイキング給食用食器並びに紙芝居、ビデオその他の教材等が県内の必要量を充足しているとは言い難い状況です。

このような状況を改善することを目的として、当法人は食育用諸教材を購入し、無償で貸出すことにより食育の推進を支援しています。

平成23年度学校給食指導用教材等貸出事業の状況は、右の表のとおりです。

貸出教材名	貸出し数量	貸出し（利用）状況		
		利用市町村数	利用学校数	
年代別献立モデル	3セット	19市町村	31校	
指導用朝食フードモデル	5セット	16市町村	29校	
6つの基礎食品分類モデル	1セット	5市町村	5校	
肥満と虫歯予防のためのモデル	8セット	8市町村	9校	
赤・黄・緑別基本食品	6セット	6市町村	7校	
原寸大魚	ぶり	2セット	5市町村	6校
	真だら	2セット	6市町村	7校
	さけ	2セット	10市町村	11校
	はまち・助宗だら	2セット	5市町村	5校
	かつお・さば	2セット	6市町村	6校
	さんま・いわし・あじ	4セット	8市町村	9校
	サクラマス	2セット	6市町村	6校
年代別献立パネル (大3枚、小3枚)	6枚	13市町村	26校	
土門拳写真パネル (筑豊のこどもたち)	3枚	2市町村	6校	
野菜モデル	野菜摂取指導モデル (加熱前後の野菜)	2セット	11市町村	17校
	実物大野菜モデル (キャベツ、シタマ、白菜)	1セット	5市町村	5校

## 子どもたちのおいしい笑顔のために



### 物資供給事業について



#### 1 基本物資

- 主食（パン・精米・米飯）については、適正円滑な安定供給と県内一円同一価格による供給をしています。
- 学校給食用パン及び米飯への食品事故防止のため『山形県学校給食パン炊飯協会』と連携し、各委託工場において常に新鮮で清潔でそして安心・安全な学校給食用パン・米飯が供給できるよう努めています。

##### パン

本会が指定した県内パン委託加工工場において、県内同一配合規格で、学校給食用パンとして加工され、各学校に供給しています。

品質検査は、学期に1回抜取り検査を実施し、品質の向上に努めています。



##### 精米

自校炊飯校へは、精米で供給されます。

生産者団体である全農山形と連携の上、県産の玄米を確保し、県産米及び地元市町村産米を年間通して安定供給しています。

玄米は設備の充実した大規模指定精米工場で搗精し、石抜き機、色彩選別機、金属探知機により選別を行っています。また、日本穀物検定協会による玄米及び精米の検定、品位分析、鮮度判定、安全の確認を実施しています。

なお、栄養面を考え、ビタミン強化米を1kgに対し3g混入し、「ビタミンB1・B2」の強化をしています。



##### 米飯

委託炊飯校へは、指定委託加工工場で炊飯し米飯で供給されます。

市町村で準備した食缶及び保温ケースに入れて、学校に納品しています。

米飯の品質チェックは指定校からの飯量、食味、色、水分等の確認報告書で品質を確認しています。



##### 牛乳

牛乳については、学校等への請求と代金回収、牛乳供給業者への支払い等の受託業務となっています。

#### 2 一般物資

- 副食（加工品・缶詰等）については、安全・安心で良質な物資を県内全域の学校・調理場等に学期間を通して同一価格による供給をしています。
- 安全・良質・低廉な価格で物資を安定的に供給するとともに、地場産物の供給に努めています。

##### コールドチェーン

常温・低温・冷凍物資をコールドチェーン（学校給食用物資低温流通機構）を活用し、安全に供給しています。また、本会では「冷凍庫」を無償貸与し、食品の安全確保に寄与しています。

##### 品質検査体制

本会の品質検査室では、安全な物資を供給するために国の定める食品衛生検査指針に基づいて、全取扱い品目の抜取り検査を計画的に実施し安全性を確認しています。



### 県産品の供給

地場産物を活用した学校給食用県産品の開発・推進に積極的に取り組んでいます。又県産品の利用促進に協力しています。

### 有機栽培・減農薬栽培

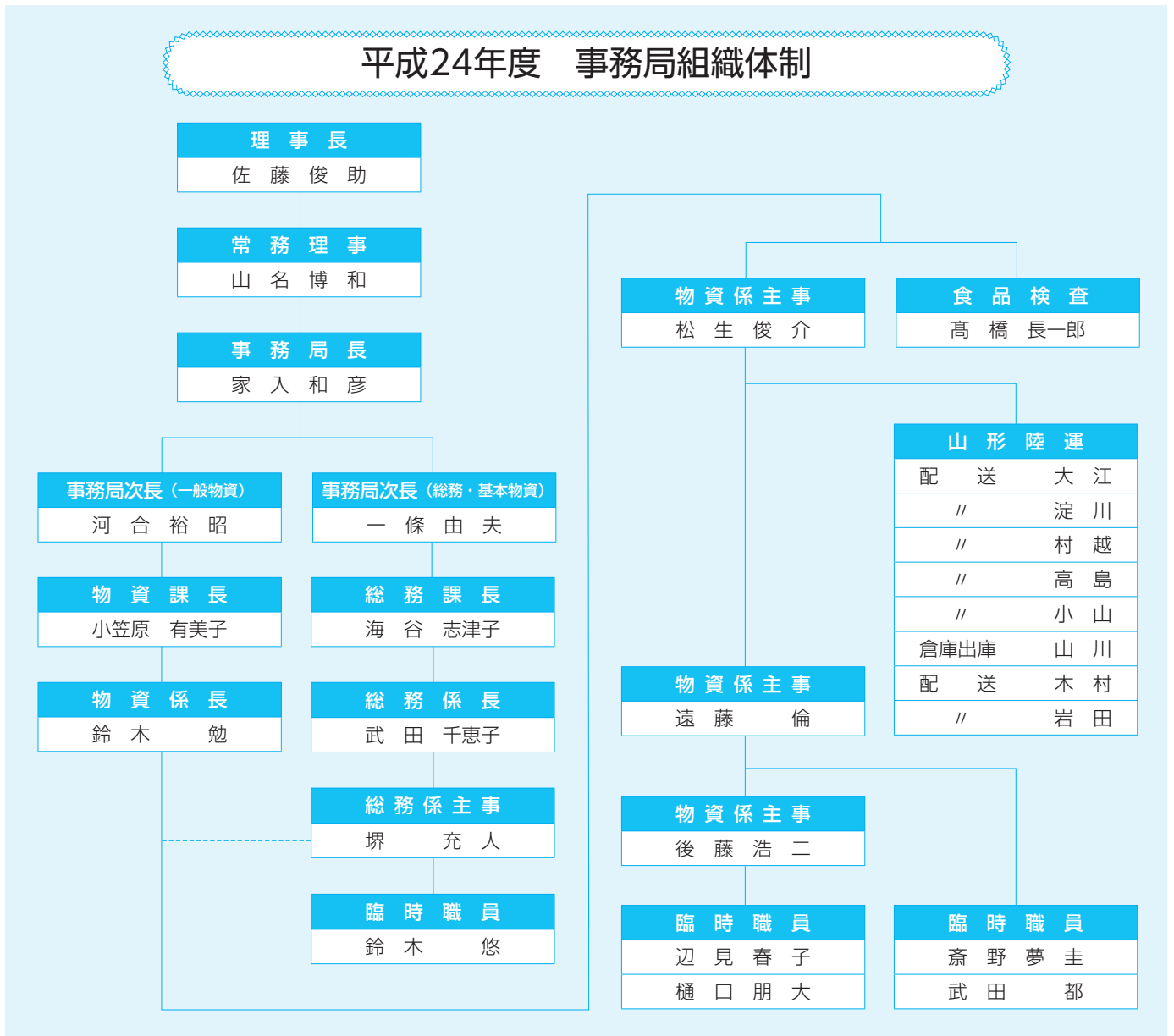
子どもたちの健康のために農薬散布を最小限にとどめた柑橘類や減農薬栽培のりんご等を積極的に供給しています。また、無農薬栽培の野菜類（冷凍）も、学校給食関係者に応えて供給しています。



### 北海道・東北ブロック共同購入

良質な物資を低廉な価格で供給できるように8道県（北海道・青森県・岩手県・秋田県・宮城県・福島県・新潟県・山形県）が共同購入を実施しています。

## 平成24年度 事務局組織体制

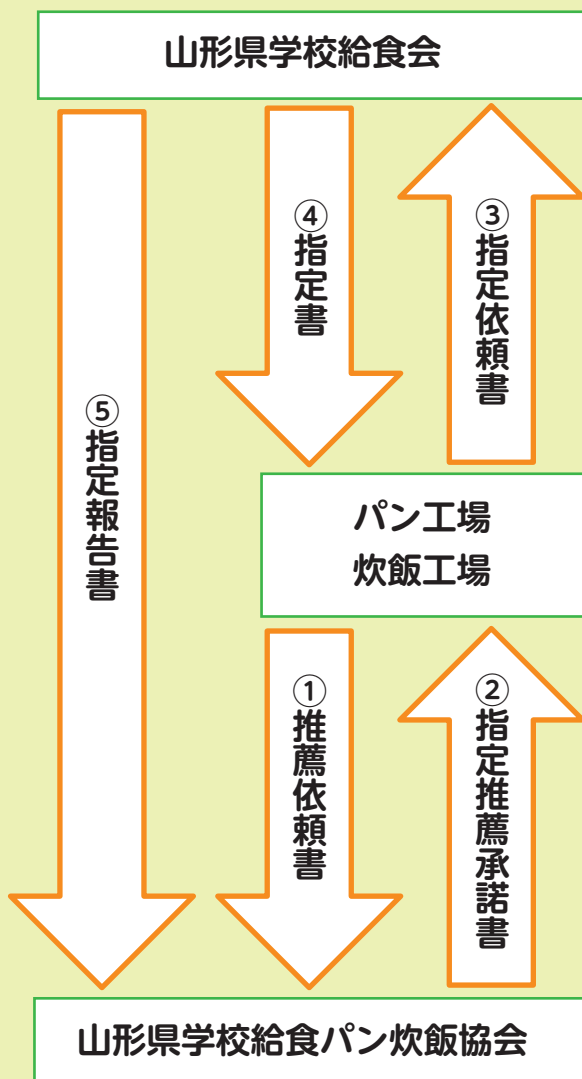


# 平成24年度学校給食用パン・炊飯・麺 委託加工工場の指定について

本会では、「一般財団法人山形県学校給食会学校給食用パン委託加工工場指定基準・学校給食用炊飯委託加工工場指定基準・学校給食用麺委託加工工場指定基準」に基づき、本会職員と保健所職員との実地調査をふまえた上、製造設備・配送能力・衛生面・製造技術・信用・その他を審査し別表のとおり指定いたしました。

実地調査では、各工場とも保健所職員の指摘に誠実に対応し、創意工夫で改善できることは直ぐに実行し、施設機械設備などについては計画的に改善更新していこうという積極的な姿勢が感じられました。今後とも、各工場にはソフト面とハード面の両面でますますの衛生管理をお願いしました。

## 学校給食用パン・炊飯委託加工工場指定 フローチャート



## 平成24年度学校給食用 委託加工指定工場一覧表

NO	所在地	工場名	代表者名	指定区分	
				製パン	炊飯
1	山形市	(株)りょうこく	奥山 純一	○	○
2	〃	(有)ライオンパン	佐藤 矩昭	○	○
3	〃	(株)城南ベーカリー	佐藤 清美	○	○
4	天童市	天童糧食(株)	吉田 邦悦	○	○
5	〃	(有)沼沢製パン	沼沢 昇	○	○
6	東根市	木村家	阿部 喬一	○	○
7	村山市	村山製パン(有)	佐藤 俊一	○	○
8	最上町	遠藤製パン	遠藤 国雄	○	○
9	真室川町	松泉堂	佐藤 眞一	○	○
10	高島町	たいようパン(株)	大浦 正人	○	○
11	川西町	丸久製パン	佐野 元	○	○
12	長井市	風林堂菓子店	鈴木 啓一	-	○
13	飯豊町	マルシチ米穀(株)	後藤 周一	-	○
14	鶴岡市	(有)パンハウス庄内	今野 毅	○	○
15	〃	大山製パン	阿部 昇	○	○
16	〃	藤島食品(株)	石川 武夫	-	○
17	庄内町	余目製パン(株)	佐藤修一郎	○	○
18	酒田市	(株)酒田りょうこく	奥山 純一	○	○
合 計				15工場	18工場
1	天童市	鈴木製麺(株)	鈴木 則男	麺1工場	

# 食品検査室だより

## 依頼検査のご案内

食品検査室では、衛生管理の一助として市町村共同調理場、学校からの依頼検査を受け付けてまいりましたが、本年度から従来の細菌検査、理化学検査に加え、放射性物質検査も可能となりました。

ご希望の調理場、学校等はホームページ上の「食品検査依頼書」により申し込んでいただくようお願い致します。

また、研修会等での衛生指導のご依頼も受け付けておりますのでご相談下さい。

TEL 023-622-0938 食品検査室 高橋長一郎

## 食品の放射性物質新基準について

食品の放射性セシウムについて現行の暫定基準値に代わる厚生労働省の新基準値が4月から適用されます。従来の5分類から4分類に変更されコメや肉、野菜などの「一般食品」は100Bq/kg、「牛乳」と新たに設ける「乳児用食品」が50Bq/kg、「飲料水」は10Bq/kgとなります。

食品に含まれる放射性セシウムの新基準値 (単位 Bq/kg)

食品群	暫定基準値	食品群	基準値
野菜類	500	一般食品	100
穀物類	500	牛乳	50
肉、魚、卵その他	500	乳児用食品 (新設)	50
牛乳、乳製品	200	飲料水	10
飲料水	200		



## 本会の放射性物質検査の概要について

### 検出機器

アトムテックス社製AT1320A  
(ベラルーシ共和国)  
NaIシンチレーターによる  
ガンマ線スペクトル測定

### 検査方法

検査容器と検査時間はつぎの通りです。

1ℓマリネリ容器	10分
0.5ℓ容器	20分
0.1ℓ容器	60分



## 平成23年度学校給食用物資等検査実績

区分	対象物資	計画検体数 (件)	実績検体数 (件)	備考
本会取り扱い物資の検査	常温物資	400	427	その他 配送車、手指、パン抜き取り検査 混入異物の細菌検査
	低温物資	200	234	
	冷凍物資	700	797	
	計	1,300	1,458	
	その他	150	213	
小計		1,450	1,671	
市町村共同調理場学校等取り扱い物資検査	希望する食品手指、調理器具等の拭き取り検査、その他	500	細菌検査 772 理化学検査 135	理化学検査 澱粉、蛋白質 脂肪
	小計	500	907	
講習会等における衛生管理指導	学校給食関係者、市町村、委託加工場 その他		川西町教育委員会 他3件 82名	
合計	検査検体数	1,950	2,578	
	衛生管理指導		82名	

## 物資研究委員会選定物資

山形県産米粉皮【肉餃子】  
規格20g踊るかつお&昆布  
規格100g若鶏トマトソース煮パック  
規格50g、60g山形県産米粉皮【野菜餃子】  
規格20gれんこん入り肉団子(たれ付き)  
規格1kg(約38~40個入)クリーミーチーズオムレツ  
規格60g子持ちししゃもフライ  
(カレー風味)  
規格約18~20g子持ちししゃも米粉揚  
規格約18~20gカットタコ  
規格1kgイカボール  
規格1kg青森産冷凍おろしにんにく  
規格100g、500gみかんソーゼリー(ナタデココ入)  
規格40g山形県産米粉皮肉まん  
規格50g

## 編集後記

このたび「やまがた学校給食だより」第14号を発刊することになりました。これからも新たな気持ちで、安全・安心かつ良質な物資の安定供給をめざすとともに、学校給食の普及充実に関する事業に取り組みたいと思いますので、よろしく願いいたします。今後とも、皆様からのご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、ご意見・ご感想をお待ちしております。